

レジメン名 GS療法

出典 (JCOG 0805)Cancer Sci 2013; 104: 1211-1216.
(JCOG1113, FUGA-BT)Jpn J Clin Oncol
2016; 46: 385-388.

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患 胆道がん
進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準(ゲムシタピン)

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	2.5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満		
その他	発熱性好中球減少症、Grade3又は悪化の発疹 減量方法:800mg/m ² へ減量		

投与減量の基準(ティーエスワン)

WBC	1000/mm ³ 未満	PLT	2.5万/mm ³ 未満
ANC	500/mm ³ 未満	CCr	60mL/min未満
その他	発熱性好中球減少症、Grade3以上の下痢、口内炎、発疹 減量方法:100mg/日→80mg/日→60mg/日→中止		

投与中止の基準

WBC	2000/mm ³ 未満	PLT	7万/mm ³ 未満
ANC	1000/mm ³ 未満	AST/ALT	150IU/L以上
T-bil	2mg/dL以上 ^{※1}	発疹	Grade3
その他	CCr30mL/min未満 ^{※2} 、Grade2以上の下痢または口内炎:ティーエスワンを中止 ※1 胆道ドレナージが行われた場合は3mg/dL以上		

1クール期間 21日 総クール数 PDまで
(次のクールまでの標準期間)

* 上記基準は出典と異なるが、膵がんのGS療法の基準に合わせて登録

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ゲムシタピン	1000mg/m ²	5%糖液100mL	15分	d1、8
ティーエスワン	BSA<1.25m ² :60mg/日 1.25m ² ≤BSA<1.5m ² :80mg/日 1.5m ² ≤BSA:100mg/日		経口 朝夕食後	d1夕-15朝
※2 腎機能によるティーエスワン初回基準量 80>CCr(mL/min)≥60:必要に応じ1段階減量 60>CCr(mL/min)≥30:原則として1段階以上の減量(40未満は2段階減量が望ましい) 減量方法:100mg/日→80mg/日→60mg/日→中止				

1日投与順
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、
溶解液まで含む)

day1、8
① グラニセトロン3mg/バッグ+デキサート6.6mg
(15min)
② ゲムシタピン1000mg/m²+5%糖液100mL
(30min)
③ 生食50mL(フラッシュ用)

Day1夕-day15朝
<内服>
ティーエスワン(BSAに応じた投与量)分2 朝夕食後